



2025年1月17日

各位

会社名 株式会社トランザクション・メディア・  
ネットワークス  
代表者名 代表取締役社長 大高 敦  
(コード番号：5258 東証グロース市場)  
問合せ先 取締役副社長 小松原 道高  
(TEL. 03-3517-3800)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年1月17日開催の取締役会において、2024年5月14日に公表しました2025年3月期通期の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2025年3月期通期連結業績予想数値の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 13,645	百万円 312	百万円 286	百万円 235	円 銭 6.38
今回修正予想（B）	12,154	△690	△706	△816	△22.06
増減額（B-A）	△1,491	△1,003	△993	△1,051	—
増減率（％）	△10.9	—	—	—	—
（参考）前期連結実績 （2024年3月期）	10,370	777	765	585	15.85

#### 2. 修正の理由

売上高につきましては、当社接続端末台数が着実に伸長していることから、センター利用料をはじめとしたストック収入は前期に比べ堅調に増加しております。しかしながらフロー収入は、端末販売については大型案件導入が進んだものの、一部端末にて次期機種種の展開を見据えた買い控えや、顧客の計画の見直しによる導入の遅延や失注、開発売上についても顧客の計画変更によるプロジェクト凍結により減少しました。

また情報プロセッシング事業は、nextore については顧客の計画遅延による売上減、クラウドPOSについては先進化に向けた設計及び開発に充分なリソースを費やしたことから立ち上がりが遅れ、結果として売上に繋げることができませんでした。

売上原価につきましては、端末原価率の上昇、障害対応及び保守対応に伴う人件費、サービス品質強化に伴う追加費用等、580百万円増加が見込まれ、端末売上への減少に伴う商品仕入高、QR精算手数料等の減少により910百万円減少、販売費及び一般管理費につきましても161百万円抑制しましたが減益分までカバーすることができず、結果、売上高12,154百万円、営業損失690百万円、経常損失706百万円となり、税効果会計に伴う繰延税金資産の取崩しにより法人税等調整額を92百万円計上する見込みから、親会社株主に帰属する当期純損失は816百万円の見通しとなりました。

なお売上原価及び販売費及び一般管理費に含まれるデータセンター移設に係る一過性費用につきましては当初

627 百万円を見込んでおりましたがデータセンター移設スケジュールの見直しにより 532 百万円となる見通しであります。

以上の結果、前回業績予想を下回ることから通期連結業績予想を修正いたします。

(参考情報) ストック収入・フロー収入別売上高増減表

単位：百万円		前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)
売上高		13,645	12,154	△1,491
ストック収入		8,209	8,135	△74
(内訳)	センター利用料	4,684	4,652	△31
	QR・バーコード精算料	3,021	2,955	△65
	登録設定料	505	527	23
フロー収入		3,956	2,630	△1,325
(内訳)	決済端末販売売上	2,358	1,571	△786
	開発売上	648	504	△143
	その他 (情報プロセッシング他)	949	554	△395
ウェブスペース		1,480	1,389	△90

※本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記載は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上